

シラバス 番号	1	科目名	生活と環境		科目の 区分	基礎分野
履修年次	1年次後期		単位数	1	時間数	15
担当講師	非常勤講師2名					
授業概要	看護の対象である人間をとりまく環境を地球規模から広く捉え、さらに人間生活と結び付けて考察する。					
授業目標	1. 人間をとりまく環境を地球規模から捉え、看護の対象理解につなげることができる。 2. 地球環境とヒトとの共存に関し、現状や問題点、今後のあり方などについて考えることができる。 3. 人間だけではなく、すべての生命の尊厳を考えることができる。 4. 地域文化、催事より人間の生活を理解する。					

授業計画

回	項目	内容	方法
1	地球環境と生物	1. 生命の星「地球」 ・大気、水を持つ惑星	講義
2		・生命の誕生と特徴 ・地球生態系の中のヒト	
3	人間と環境のかかわり	1. 人間の活動による環境への影響 ・産業革命以降の影響	講義
4		・人口、食糧、大気や水質汚染など ・グローバル化と環境問題	
5	人類と地球の未来	1. 文化を持つ生物 ・「ヒト」と「人」、他の生物との比較 ・地球温暖化を例として	講義
6	私たちの生活と自然	1. 身近な自然 ・人と自然の相互作用 ・兵庫の自然	講義
7	いのちと文化	1. 行事と生活 ・暦法と24節気・年中行事の意味 (自然に対する人間の畏敬の念とその行為)	講義
8		2. 死に対する意識の持ち方 ・死亡診断以後の儀式の意味 (仏教における火葬・通夜・葬式・満中陰の意味)	
テキスト		系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 医学書院 系統看護学講座 基礎分野 生物学 医学書院	
成績評価		講義への参加態度やレポートなどを用いて評価する	

シラバス 番号	2	科目名	情報収集と管理		科目の区分	基礎分野
履修年次	1年次前期		単位数	1	時間数	30
担当講師	非常勤講師1名 専任教師1名					
授業概要	医療の現場においても、電子カルテなどコンピュータを扱う知識がますます重要になってきている。情報収集の方法、著作権などの情報管理について理解するとともに、基礎的な知識を学び、実際にコンピュータを操作して、基本的な技能を身につける。データを使ってわかりやすくプレゼンテーションする能力を養う。					
授業目標	1.情報化社会に適応できる能力を身につける。 2.情報収集の方法として、文献検索の方法や、NIE (Newspaper in Education:教育に新聞を)、著作権などの情報管理について理解する。 3.医療の現場で業務に必要な電子カルテの操作など実際にコンピュータを操作して、基本的な技能を身につける。 4.データを使ってわかりやすくプレゼンテーションする能力を養う。					

授業計画

回	項目	内容	方法
1 2	NIEについて	NIEの意義 新聞を知る・新聞で学ぶ・新聞を作る NIEの実践(新聞づくり) 新聞を知る・新聞で学ぶ・新聞を作る 学校の掲示板で公開	講義 演習 発表 投票
3	情報の定義と特徴	情報とは 情報の特性・情報の認知と意思決定・情報の伝達	講義
4	社会と情報	情報社会とは インターネットの仕組みとネットワーク 情報通信技術(ICT)とその活用	講義
5	情報と倫理	情報倫理とは 知的財産の尊重 プライバシーの尊重	講義
6	個人情報の保護	個人情報とその特徴 情報の利用の仕方 研究における個人情報保護	演習
7	コンピューターリテラシーとセキュリティ	コンピューターに関する基礎知識 インターネットに関する基礎知識と注意点 ソーシャルメディア	演習
8	情報処理 Excelによる統計解析	Excelの基本操作1	演習
9	Windowsの基本的操作 Excelによる統計解析	Excelの基本操作2	演習
10	Windowsの基本的操作 Word	ワープロソフトの使い方	演習
11	Windowsの基本的操作 Word	ワープロソフトの使い方	演習

回	項目	内容	方法
12	Windowsの基本的操作 PPT	情報の発表とコミュニケーション プレゼンテーションの基本 PPTの基本操作	演習
13 14	プレゼンテーション	学んだことを活用してプレゼンテーション 発表	演習
15	情報処理 既存の情報の収集方法	文献検索の目的を理解する 文献検索の方法を学び、実際に演習を行う	講義 演習
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院 看護研究のための文献検索ガイド第4版 日本看護協会出版会		
成績評価	レポート コンピューターの演習における課題・小テスト(個人情報保護) グループワーク・演習、参加度		

シラバス 番号	3	科目名	思考のレッスン		科目の 区分	基礎分野
履修年次	1年次前期		単位数	1	時間数	30
担当講師	非常勤講師					
授業概要	質問する力、大切なものを選び出す力、創造的思考能力、目標設定する力について学ぶ。					
授業目標	講義を通して、以下の①～⑥の能力を涵養する。 ①質問する力 ②批判的思考能力＝大切なものを選び出す力(吟味する、はっきりさせる、系統立てる、論理立てる、分析する、一般化する、仮説を立てる、与えられている選択肢を検証する、予想するなど) ③創造的思考能力(アイデアを作り出す、他の方法を見つけ出す、柔軟性、多様なアプローチができる、前提を疑ってみるなど) ④論理的思考能力 ⑤自己調整学修力(自己教育力) ⑥メタ認知					

授業計画

回	項目	内容	方法
1	ガイダンス	・本科目の進め方 ・哲学的ディベートに向けて ・思考のレッスン(問に向き合う) ・「滅びゆく地球」に関して	
2	テキスト①	} テキストをもとにそれぞれのテーマについて討論	グループdiscussionと問答
3	「思考の整理学」に関して		
4	テキスト②		
5	「Why型思考」		
6	に関して		
7			
8	省察力の育成①	・看護におけるリフレクション (テキスト③の第1・3章をもとに)	グループdiscussionと問答
9			
10	省察力の育成②	・リフレクションに必要なスキルの修得 (テキスト③の第1・3章以外をもとに)	
11			
12	哲学的ディベート	・代理出産について (肯定派3グループ対反対派3グループ)	肯定派vs否定派に分かれてディベート
13		・デザイナーズベビーについて (肯定派3グループ対反対派3グループ)	
14	まとめ	・「考える」とは？ 「わかる」とは？ 「学ぶ」とは？ 「WHY型思考」とは？	
15			

テキスト	①外山滋比古:思考の整理学. ちくま書房、1986. ②オリジナルテキスト(別途購入) ③メラニー・ジャスパー著、中田康夫/光成研一郎/山崎麻由美 監訳:ナースのための反省的実践. ゆみ出版、2014. (別途購入)
成績評価	学修の凝縮ポートフォリオと自己評価を課題として提出されたレポートと、ディベートの内容をもとに総合的に評価する。

シラバス 番号	4	科目名	外国語 I		科目の 区分	基礎分野
履修年次	1年次後期		単位数	1	時間数	30
担当講師	非常勤講師					
授業概要	看護場面の英会話を学ぶ。					
授業目標	医療英語の基礎的能力を身につける。					

授業計画

回	項目	内容	方法
1	Is this your first visit to this hospital?	患者の基本情報を尋ねる。	原則、テキストに沿って講義を進めるが、適宜ペアワークやロールプレイを実施し、会話の訓練を行う。 また、毎回、前回の復習小テストを実施し、語彙などの定着をはかる。 (必用に応じてプリント教材を使用することがある。)
2	What's the matter?	主訴・症状を尋ねる、体の部位に関わる語句を学ぶ。	
3	You need to see a dermatologist.	診療科名について知る	
4	Let me direct you to radiology.	診療科名復習、院内を案内する表現を学ぶ。	
5	Let's check your height and weight.	身体測定に必要な表現、数字の読み方、聞き取り練習。	
6	I need to ask you some questions.	病気・病歴に関わる表現を身につける。	
7	Can you describe the pain?	症状を詳細に述べる。痛みなどに関する表現を学ぶ。	
8	Rest your arm on the armrest.	患者に対する支持、体位変換に関わる表現を学ぶ。	
9	Please make a follow-up appointment.	来院のアポを取る。日時の表し方を学ぶ。	
10	Take this medicine after meals.	与薬・服薬の指示。薬剤名について知る。	
11	Your operation will be this afternoon.	手術に関する表現を学ぶ。	
12	Are you feeling more comfortable now?	術後、回復期に関する表現を学ぶ。	
13	This is the emergency.	救急に関わる表現を学ぶ。	
14	Tests show you have higher sugar levels.	健康診断に関わる英語を学ぶ。	
15	Review	総復習	

テキスト	English for Nurses(Revised Edition) Asahi Press
成績評価	終講時学科試験、オーラルテスト他

シラバス 番号	5	科目名	外国語Ⅱ		科目の 区分	基礎分野
履修年次	2年次前期		単位数	1	時間数	30
担当講師	非常勤講師					
授業概要	1年次後期で学んだ医療英語を活用したコミュニケーションのトレーニング。					
授業目標	場面に応じたコミュニケーションが図ることができる。					

授業計画

回	項目	内容	方法
1	Introduction 問診を始める	・自己紹介 ・問診	原則、テキストに沿って講義を進め、会話の訓練を行う。
2	The outpatient Ward 主訴、症状	・症状の英語	
3	The outpatient Ward 受診手続き	・検査室名	
4	The Inpatient Ward 入院準備、病棟	・病棟名 ・入院に必要なもの	
5	The Inpatient Ward 検査	・検査に必要な表現 ・英語の数字	
6	The Elderly 診療科①	・診療科名 ・ロールプレイ	
7	The Elderly 診療科②	・診療科名復習	
8	People with Disabilities 日常の健康管理	・日常の健康管理 ・ロールプレイ	
9	People with Disabilities 日常生活動作	・日常生活動作 ・生活補助手段	
10	People with Disabilities 病歴①	・病気を英語で ・ロールプレイ	
11	People with Disabilities 病歴②	・病名の復習 ・病名追加	
12	A Nurse's Job 治療、処置①	・治療、処置に関する英語	
13	A Nurse's Job 治療、処置②	・治療、処置に関する英語	
14	A Nurse's Job 薬の服用	・薬の名前を英語で	
15	総復習		
テキスト	English For Nurses		
成績評価	終講時学科試験、オーラルテスト他		

シラバス 番号	6	科目名	異文化論・グローバルヘルス		科目の 区分	基礎分野
履修年次	3年次前期		単位数	1	時間数	30
担当講師	非常勤講師2名					
授業概要	国際救援ならびに開発協力における看護師の活動を学ぶ。 また、看護場面の英会話を通して、国際活動ができる基礎的能力を学ぶ					
授業目標	1. グローバリゼーションと看護の関係について理解する 2. グローバルヘルスや国際協力のしくみ、文化を考慮した看護など国際看護の基礎知識を理解する 3. 国際救援および開発協力における看護師の活動について理解する 4. 国際看護学を支え・発展させていくために必要な教育・研究について理解する					

授業計画

回	項目	内容	方法
1	国際看護学とは	1) 国際看護学の定義 2) 国際看護学の対象 3) 国際看護学に関する基礎知識	講義
2	グローバルヘルス	1) 保健医療分野の開発理念の変遷 2) 世界の健康問題の現状	
3	国際協力のしくみ	1) 国際救援・保健医療協力分野で活躍する国際機関 2) 国際救援の調整 3) 開発協力	
4	文化を考慮した看護	1) 看護理論 2) 在日外国人への看護の実践	
5	国際看護活動について	1) 国際看護活動の展開過程 2) 開発協力と看護 3) 国際救援と看護	
6	国際救援・開発協力 活動事例紹介	体験者による外国語を交えた講演	
7	国際救援・開発協力 活動事例紹介	体験者による外国語を交えた講演	講義
8	Meeting Patients 患者登録と生活習慣を アンケートする Taking a Medical History 病歴および健康状態を把握する	初診時の登録方法や患者の生活習慣について、質問の仕方を学ぶ。 生年月日や職業、緊急連絡先等、食生活、睡眠、喫煙習慣等について質問し、受診前の患者の基本情報や健康状態を確認把握する。 患者本人や家族の病歴についての応答を学ぶ。 患者の健康状態への理解を深めるために、アレルギーの有無や既往歴等に関する情報を正確に聞きとる。	講義 ペアワーク ロールプレイ DVD
9	Assessing Patients' Symptoms 病状や症状をアセスメントする Taking Vital Signs バイタルサインを確認する	患者が訴える主訴やその症状、その経過についてのアセスメントについて学ぶ。 感染症の症状や診療科目ごとによく聞かれる主訴も把握しておく。 バイタルサインを計測することで患者の正確な健康状態を把握する。	
10	Taking a Specimen 検体を採取する Conducting Medical Examinations 検査の注意や指示をする	患者の検体を採取するためのやり取りを学ぶ。 患者が検査を受ける場合には、看護師にはその手順などを詳述することが求められる。さらに実際に検査を行う際には、必要な指示を患者に与え、適切な声掛けをして、患者に不安や負担をかけないことが大切である。	

回	項目	内容	方法
11	Assessing Pain 疾病・負傷による痛みを アセスメントする Advising about Medication 処方された投薬について アドバイスする	患者の痛みへの対応の仕方を学ぶ。 痛みの部位、期間、程度、変化などを患者からしっかり聞きとることが、より適切で効果的な治療へとつながる。 薬の服用方法や副作用の説明、薬の種類について学ぶ。 薬の5原則を意識しながら、与薬の際にコミュニケーションを練習する。	講義 ペアワーク ロールプレイ DVD
12	Improving Patients' Mobility 体の機能回復を介助・援助する Maintaining a Good Diet 栄養と食餌について アドバイスする	自分で体を動かすことが困難な患者が動けるようになるための運動や訓練を援助する際の表現を学ぶ。 患者の意欲を高め、積極的にトレーニングに取り組めるよう援助する。 検査結果やケアプランに基づいて患者に健康指導するときの表現を学習する。 一日に必要なカロリーや摂取制限など、食餌・栄養に関する患者指導の表現を習得する。	
13	Caring for Inpatients 入院患者のケアをする Coping with Emergenies 緊急事態に対処する	入院中の患者へのケアに関する表現を学ぶ。 手術前の注意、病院の規則や洗髪、足浴のときの表現を覚え、患者に必要な情報やケアを提供できるようにする。 救急患者への対応を学ぶ。 救急救命室に搬送された患者やその家族に対して、あるいは外出先で遭遇した傷病者に対してどのように対応するのか確認し、救命救急のためのアルゴリズムを習得する。	
14 15	実習で学んだことについて 英語でスピーチ	看護学実習で感じたこと、学んだことについて英語でスピーチする	スピーチ発表
テキスト	系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 医学書院		
成績評価	スピーチの評価、終講時学科試験、他		

シラバス 番号	7	科目名	コミュニケーション I		科目の 区分	基礎分野
履修年次	1年次前期		単位数	1	時間数	15
担当講師	専任教師					
授業概要	看護・医療におけるコミュニケーションの基礎的知識を学ぶ					
授業目標	1. 看護における相互作用とコミュニケーションの意義を理解する 2. 看護・医療におけるコミュニケーションの目的・特徴・重要性を理解する 3. コミュニケーションの構成要素と成立過程について理解する 4. 接近的コミュニケーションについて理解する 5. 本の紹介を通して、学生相互にコミュニケーションの学びを深める					

授業計画

回	項目	内容	方法
1	コミュニケーションの意義と目的	1) 相互作用を生むコミュニケーション 2) 人間のコミュニケーションの特徴 3) 看護・医療におけるコミュニケーションの目的 4) 看護・医療におけるコミュニケーションの特徴 5) 看護・医療におけるコミュニケーションの重要性	講義
2	コミュニケーションの構成要素と成立過程	1) コミュニケーション手段 2) 構成要素と成立過程	講義
3	関係構築のためのコミュニケーションの基本	基礎的マナー あいさつ 身だしなみ、態度、所作 言葉づかい メッセージの伝え方(表現力・表出力)	講義 演習
4		1)自己理解 ジョハリの窓、リフレーミング 2)他者理解	講義
5		1)接近的コミュニケーションの原理 2)接近的行動の前提となる基本的な態度 3つのきく(聞く・聴く・訊く)スキル アサーション:言いたいことをわかりやすく伝える 3)接近的行動と非接近的行動 4) 接近的コミュニケーションを成立させるためのまとめ	講義 演習
6 7 8		個人ワークの発表、意見交換 まとめ	講義 演習 講義
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 医学書院		
参考資料	ナーシングチャンネル 基礎看護		
成績評価	終講時学科試験		

シラバス 番号	8	科目名	人権と赤十字		科目の 区分	基礎分野
履修年次	2年次前期		単位数	1	時間数	30
担当講師	非常勤講師					
授業概要	「人道」に基づき、人間の生命や尊厳を守る意義を理解し、一人一人が赤十字看護師として「人権」を尊重した行動ができるための基本的知識を学ぶ					
授業目標	1. 「倫理（善悪の判断）とは何か」について理解する 2. 「赤十字の基本原則」について学び、医療現場での「人権」の尊重について理解する 3. 「赤十字の基本原則」に基づく意義と重要性、卓越性を理解する 4. 今日、医療現場で起こっている「倫理的諸問題」について理解する					

授業計画

回	項目	内容	方法
1	倫理	・イドラ論【思い込みの自覚】	講義
2		・「選択しているのはあなた自身？」 （ NHK 公開講義 アイエンガー教授 ）	講義 VTR
3		・倫理とは ・慣習倫理と自律倫理	講義
4		・日本人の倫理上の問題点 ・倫理とethics	講義
5	人権	・生命倫理とは ・人権とは	講義
6		・「相模原障害者施設殺傷事件について」 （ NHK こころの時代 辺見庸 ）	講義 VTR
7	赤十字の基本原則	・赤十字の歴史と原則 （ 『赤十字と国際人道法』より ）	講義
8			
9		・「中村哲とアフガニスタン」 （ NHK特集 ～武器ではなく命の水を～ ）	VTR
10		・人道 （ 『赤十字の基本原則』より ）	講義
11			
12			・公平 （ 『赤十字の基本原則』より ）
13			
14	医療倫理	・インフォームド・コンセント、安楽死 他	講義
15			
テキスト		『赤十字と国際人道法 普及のためのハンドブック』 日本赤十字社 『赤十字の基本原則』 赤十字看護研究会 『看護のための生命倫理』 小林亜津子著 ナカニシヤ出版	
参考書		『赤十字のしくみと活動』(1年次購入) 『ソルフェリーノの思い出』(1年次購入)	
成績評価		授業への取り組み・姿勢、授業内課題、終講時レポート	

シラバス 番号	9	科目名	人間関係論		科目の 区分	基礎分野
履修年次	2年次前期		単位数	1	時間数	30
担当講師	非常勤講師					
授業概要	臨床心理学、社会心理学の観点からコミュニケーションや対人関係について理解を深める。					
授業目標	1.人間関係とはなにかを知り、保健医療の専門職として、人間関係に関する概念や理論、スキルを学ぶ 2.人の態度・意図・行動の変容にかかわる理論やモデルを学ぶ 3. 集団が個人の行動や課題の遂行に与える影響を考える 4. さまざまな状況にある患者を理解し、それぞれの状況で患者を支えるための看護師のかかわりを学ぶ					

授業計画

回	項目	内容	方法
1	イントロダクション、社会的動機付け	講義概要、狙いについて説明する 人間存在と人間関係	講義、演習 グループワーク (討議と発表) ビデオ鑑賞
2	自己と社会1	社会的態度とその変容	
3	自己と社会2	個人と社会の関係	
4	自己と社会3	対人魅力	
5	攻撃と援助	攻撃行動、援助行動の分類、要因	
6	リーダーシップ	主なリーダーシップ論について理解する	
7	カウンセリング1	人の話を聴くことについてのグループワーク	
8	カウンセリング2	カウンセリングの原理、いろいろな心理療法	
9	カウンセリング3	森林療法の実験と理論	
10	人間論1	パーソン論	
11	人間論2	優生思想	
12	ターミナル	ターミナルのビデオの鑑賞と感想	
13	グループワーク2 討議	前回見たビデオをデスエデュケーションに活かす	
14	グループワーク2 発表	前回の討議・分類結果の発表と評価	
15	全体のまとめと補足		
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論		
参考書	明田芳久・岡本浩一・奥田秀宇・外山みどり・山口勸 1998 ベーシック現代心理学7 社会心理学 有斐閣 今井道夫 生命倫理学入門(第4版) 2017 産業図書		
成績評価	グループワーク発表の評価、終講時試験		

シラバス 番号	10	科目名	臨床心理学		科目の 区分	基礎分野
履修年次	2年次前期		単位数	1	時間数	30
担当講師	非常勤講師					
授業概要	看護を行ううえで、患者を理解することは不可欠である。心の健康なくして肉体の健康は成 立しないため、そのような患者の心理を考える上で、基礎となる心理学について学び、人間 心理を内側から見つめ、より患者の理解を深める					
授業目標	1.心を科学的に探究するための心的過程について理解する 2.医療場面における心理的支援として、アプローチできる知識と技術の基礎を身に付ける					
授業計画						
回	項目	内容			方法	
1 2	心理学とは	1) 心理学とはどのような学問か 2) 対人援助と心理学 3) 心理学の歴史 4) 心理学の研究方法			講義・演習	
	感覚と知覚	1) 外界を理解する心のはたらき 2) 感覚のしくみとはたらき 3) 知覚のしくみとはたらき				
3	記憶	1) 記憶のメカニズム 2) 感覚・短期記憶と作業記憶 3) 長期記憶と忘却				
4	思考・言語・知能	1) 思考 2) 言語とコミュニケーション 3) 知能				
5	学習	1) 学習とは 2) 古典的条件づけ 3) オペラント条件づけと学習の理論 4) 社会的学習と効果的な学習方法				
6	感情と動機づけ	1) 感情の諸相 2) 感情のメカニズム 3) 動機づけ 4) 動機づけの理論				
7 8	性格とパーソナリテ	1) 性格とは 2) 性格の理論 3) 性格の測定			講義・演習 闘病記抄読	
	社会と集団	1) 社会的認知 2) 態度と説得的コミュニケーション 3) 対人関係と対人魅力 4) 集団とリーダーシップ				
9 10 11 12	発達	1) 発達とは 2) 乳幼児の発達 3) 児童・青年の発達 4) 成人・高齢者の発達				
13	心理臨床	1) 心理臨床と臨床心理学 2) 心の適応と不適応 3) 心理療法				
14 15	医療・看護と心理	1) 医療職と対人援助 2) 患者の心理 3) 医療・看護職の心理 4) 医療・看護職の心のケア				
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 心理学 医学書院					
成績評価	終講時学科試験・参加度					

シラバス 番号	11	科目名	人間と社会	科目の 区分	基礎分野
履修年次	2年次前期	単位数	1	時間数	30
担当講師	非常勤講師				
授業概要	「社会」は行為、行動、社会的相互作用といったものから、家族、地域、組織、社会構造やその変動に及ぶものまでさまざまであり、人間を取り巻く「社会」とは何かを理解する。このことから、看護的な関わりにおいて、患者の家族関係や家庭的状況、社会的立場などを理解し、配慮することが患者理解の深まりに繋がることを学ぶ。				
授業目標	「社会」の成り立ち、現代社会の課題など、人間にとって「社会」とは何かを理解する。				

授業計画

回	項目	内容	方法
1	社会学の基礎 概念	授業オリエンテーション	講義
2		社会、社会集団、社会規範、流行・同調、社会化	講義
3		伝統社会と近代社会の違い、現代社会の特徴と社会変動の方向・考察	講義
4	社会を構成する 単位	地域社会、仲間友人集団、社会階層 学生自らの日々の生活や身近な地域社会から考える	講義
5		情報化社会	講義
		消費社会	
6		少子高齢社会	講義
7	職業の世界	職業、資格、学歴、就職、職場、転勤、社宅、 家業の世界	講義
8	家族	家族の社会的な意義と機能 近代家族の誕生と変容	講義
9		結婚・離婚・夫婦のあり方 高齢化社会の現在、老親のケア等、高齢者と家族	講義
10		親子関係 虐待、荒れ、いじめ、発達障害のある子どもの育ちについて 支えを失った家族に対する社会的支援について	講義
11		家族の今後のあり方 家族をめぐるDVDを視聴する	講義 DVD視聴
12	現代の家族と その課題	家族とは 家族の変容	講義
13		子どもの発見、母性の発見 個人化する家族	講義
14		夫婦関係、親子関係 高齢者問題	講義
15			
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 社会学 医学書院 系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院		
成績評価	レポート課題・参加度		

シラバス 番号	12	科目名	音楽		科目の 区分	基礎分野
履修年次	1年次後期		単位数	1	時間数	15
担当講師	非常勤講師					
授業概要	看護現場における、音楽の在り方や活かし方を音楽療法的観点から考え、グループワークを通して 体現する。					
授業目標	1.多様な表現方法について各自の可能性を追求する。 2.さまざまな曲に触れ(演奏する/鑑賞する)、広く芸術全般に対する美的直観力を養い、教養を高 める。					

授業計画			
回	項目	内容	方法
1	授業の概要、目的	オリエンテーション、授業の進め方	演習
2	発声や歌唱の基本、表現力などを学ぶ 歌唱練習	発声法について(姿勢・呼吸法・発音法)	
3		歌唱法について(メロディーの歌い方、表現方法)	
4			
5		季節の歌、癒しの歌、行事の歌など	
6		グループで課題の発表	
7			
8	実技発表	個人で課題の発表	
テキスト	適宜プリント配布		
成績評価	発表・授業に臨む姿勢等により総合的評価		

シラバス 番号	13	科目名	体育		科目の 区分	基礎分野
履修年次	1年次前期		単位数	1	時間数	15
担当講師	非常勤講師					
授業概要	健康の維持・増進・身体活動・生活行動のあり方について解説するとともに、今日の健康に関わる諸活動とその対応について学ぶ。身体を使って表現し、直観力を養い、心身の開放を促す。					
授業目標	1.スポーツ・エクササイズを通して身体活動に関する知識を獲得する。 2.心身における健康の維持増進の重要性を理解する。					

授業計画

回	項目	内容	方法
1	オリエンテーション、ストレッチング	授業の流れを説明 身体をほぐす、体力測定①	演習 ※動きやすい服装とシューズ、タオル、水分補給のための飲料を準備してください。
2	体力測定	体力測定②、体力と運動能力について	
3	転倒予防体操	講義	
4	転倒予防体操	椅子を使った運動(実技)	
5	転倒予防体操	発表(実技)	
6	ネット型ゲームの実践	基本技術の習得、ルールの理解	
7・8	ネット型ゲームの実践	ゲーム	
テキスト	なし		
成績評価	授業への取り組み、作品発表を総合的に評価		

シラバス 番号	14	科目名	赤十字活動論		科目の 区分	基礎分野
履修年次	1年次前期		単位数	1	時間数	15
担当講師	専任教師					
授業概要	赤十字の活動の基本である「人道」を最高原則とする他の諸原則の実践について理解する 身近なボランティア活動を通して、人と「関り」を持つことの意義と、人を大切にし、人を尊重する「人道」の共通性について学ぶ					
授業目標	1. 赤十字思想の誕生と国際的なしくみへの発展について理解する 2. 日本赤十字社の事業について理解する 3. 赤十字の理念である人道について理解する 4. ボランティアの意義と実情を理解する 5. ボランティアの実践を通して、人道との共通性について理解する					

授業計画

回	項目	内容	方法
1	赤十字の誕生とあゆみ	- 赤十字の起こり - 赤十字の理念 - 赤十字の活動と社会的役割 - NPO(非営利団体)と赤十字	講義 ビデオ鑑賞
2 3		- 赤十字事業等 - 国内災害救護、国際活動、赤十字病院、血液事業 - 青少年赤十字、赤十字ボランティア - 救急法等の講習、社会福祉、看護師等の教育 - 赤十字広報活動、社員制度	支部職員
4 5	赤十字の理念□ 「人道」	赤十字の理念「人道」って何だろう	DVD鑑賞 講義 個人ワーク グループワーク
6 7	ボランティアとは	1. ボランティアの定義 2. 日本人のボランティア観 3. ボランティアの機能と役割 4. ボランティアについて調べよう	講義 個人ワーク グループワーク
テキスト	ソルフェリーノの思い出 赤十字のしくみと活動		
参考資料	新人看護師 若葉と読む「赤十字の基本原則」 集英社 鎌田実著 アハメドくんのいのちのリレー		
成績評価	終講時学科試験、レポート、参加度		